

第65回 芳賀町成人式

「感謝」を胸に 大人へ一歩



成人の日を前に1月13日(日)町民会館で第65回芳賀町成人式が行われました。今年の新成人は153人(平成10年4月2日、平成11年4月1日生まれ)で、式典に出席した新成人の皆さんは真新しいスーツや色鮮やかな振り袖に身を包み、近況を報告しあったり記念撮影をしたりと同級生との再会を喜んでいました。

式典の中で、見目町長は「平成が終わり新しい時代が始まる。その新時代を切り開く中心となる皆さんに大いに期待している」とエールを送りました。また来賓からの祝辞や祝電を受け、新成人代表として佐藤匡信さん(上稲毛田)が「この日を迎えられた感謝の気持ち、芳賀町への恩返し、そして成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいきます」と謝辞を述べました。今年も、新たな試みとして「二十歳の主張」が行われ、廣田和希さん(下高根沢)と岡田春香さん(稲毛田)の2人が、これまでの人生を振り返り今感じていることを発表しました。

多くの新成人の皆さんが口にしていた「感謝」という言葉。成長した今だからこそ気付いたことがたくさんあるのでしょうか。大人としての自覚と未来への期待を胸に、力強く一歩を踏み出しました。

謝辞



新成人者代表
佐藤 匡信

本日、成人式という人生の節目、そして大人としての門出を迎えることができ、大変うれしく思います。私たちは、平成が終わる寂しき、新しい時代が始まる期待を胸に、平成最後の新成人としてこの日を迎えました。来年には東京オリンピックを控え、新しい時代を迎えようとしています。このような節目の年に成人式を迎えられたことを誇りに思います。今後は、大人として課せられた責任を果たしながら、よりよい地域社会、さらには国際社会の創造に貢献できるように努めていきたいと考えております。

今日、私たちがここに集い、笑顔で成人式を迎えることができるのは、無上の愛情を注ぎ、育てていただいた家族や、苦業を共にし一緒に歩んできた友達、幼いころから見守り支えてくださった恩師の皆さまや地域の皆さまのおかげです。この感謝の気持ちと、生まれ、育ち、学んだ芳賀町への恩返し、そして成人としての決意を心に刻み、これからの人生を歩んでいくことを誓って、成人者代表の挨拶とさせていただきます。

平成31年1月13日

Memories



二十歳の主張

私は高校を卒業した年、行きたい大学に受かりませんでした。しかし、そのような辛い経験をしたからこそ、自分がどれだけ周りの人たちに支えられて生きてきたのかと気付くことができました。たくさんの人のおかげで私のこれまでの人生は色づいてきました。「感謝」。この言葉しかありません。

廣田 和希さん



社会人になり、多くの人に出会い多くのことを学んでいます。「叶えたい気持ちを強く持てば、夢は必ず実現できる」と実感しています。しかし、それはわたしの夢を後押ししてくれる母がいてくれるから。「人生は思い通り」その言葉を信じて、なりたい自分になります。お母さん、見ていてください。

岡田 春香さん

